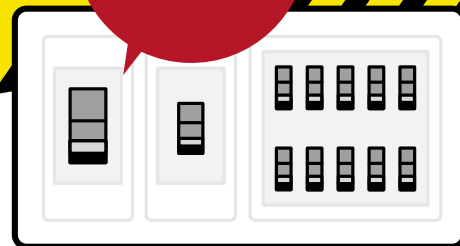


命と家・地域を守るために

地震火災の予防のため、 感震ブレーカー を設置しましょう！



OFF



東日本大震災や能登半島地震で発生した火災の過半数は、電気が原因で出火したことが判明しています。

地震が引き起こす電気火災とは

地震の揺れにより電気機器に接触した可燃物からの出火や、停電が復旧したときに可燃物に着火して発生する火災のことです。



！ 電気火災の事例①

地震で本棚が倒れ、可燃物が
電気ストーブ周辺に散乱

▶ 停電した状態から通電し、
電気ストーブが作動

▶ 電気ストーブの近くの可燃物に
着火し、火災が発生

！ 電気火災の事例②

家具が転倒し、「電気コード」
が下敷きや引っ張りで損傷

▶ 通電の瞬間、
コードがショート

▶ 損傷したコードに接触していた
可燃物に着火



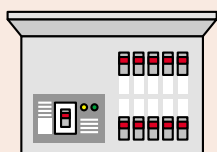
感震ブレーカーとは

一定以上の地震の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。ブレーカーを操作する必要がないので、速やかに避難できます。

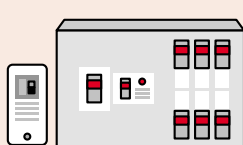
感震ブレーカーの種類

住宅の分電盤の種類などに応じて、適した製品をお選びください。

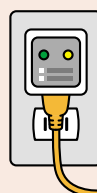
分電盤タイプ
(内蔵型)



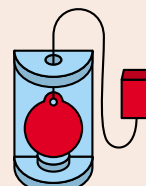
分電盤タイプ
(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ



【問い合わせ】ひたちなか・東海広域事務組合消防本部予防課(☎271-0735)